

社協 おうたき

第

58

号

平成27年7月1日発行

社会福祉法人
王滝村社会福祉協議会

〒397-0201

長野県木曾郡王滝村2830-1

TEL 0264 (48)2008

FAX 0264(48)3033

寄り添う めくもい



地域の輪!

平成26年度事業報告・・・2～5P

平成26年度収支決算・・・6～7P

輪になって、ふれあい

ふれあい元気づくり教室とごた
くらぶの年納めの交流会。互いに
がんばらまい!と、心とところを
ひとつにつなげ輪になりました。

(H26.12.12)

平成26年度おもな事業の報告



小学生もボランティアに挑戦!

夏休みの絵手紙教室で描いた暑中見舞を、お弁当といっしょにお年寄りにお届け。

☆ともに支え合う地域づくりの推進

前年度、社協にボランティア登録された方は95名と、村民の1割以上の方がさまざまな形で住民福祉の向上のために活躍。共同募金活動では支え合い活動の促進のために公募配分が導入され、新たにサロン活動などに配分されました。

又、滝越区を皮切りに毎年各地区に伺わせていただいていた情報交換会は、九蔵区でようやく一巡を迎えましたが、皆さまの生の声を今後の事業展開に生かすとともに、今後の地域における支え合い活動をともに考える契機とさせていただければと考えております。

☆社会福祉大会が25回目の節目

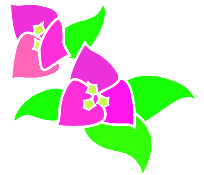
平成2年に社協が法人化され25周年を迎えた前年度、記念すべき25回目の福祉大会が行われました。これまでの地域の福祉の歩みを紹介するコーナーも設けられ、改めて地域の皆さまから必要とされる社協のあり方について考える機会となりました。



あったらいいな! ご近所サロン

ボランティア活動として地域の寄り合い所となっている、下条区の「五郎八茶屋」。手芸をしたり、食事をとったり・・・、あなたの地区にもあったらいいですね!

◇地域福祉活動



ボランティア・福祉啓発

1. ボランティアの育成・支援

登録ボランティア 14メニュー 95名

ボランティア講座 2回実施 参加者27名

その他、ボランティア新年交流会や、お楽しみ弁当づくり隊勉強会等を実施。

2. 第25回福祉・健康の集い(社会福祉大会)

『見つめよう! 生命の輝き、感じ合おう! みんなの幸せ』

9月7日 参加者275名

3. 福祉教育

小中学生夏休みボランティア体験

体験 5メニュー 参加者76名

福祉体験教室 2回実施 参加者54名

その他、デイサービスなどの諸事業での子どもたちとお年寄り交流会等を実施。

支え合い活動の促進

地区サロンと情報交換会

11月19日 二子持・鞍馬・崩越地区情報交換会

参加者7名 出張介護教室、サービス紹介他

1月18日 九蔵地区情報交換会 参加者10名

6月30日 中越地区サロン 参加者14名

『生活の張りについて考えよう!』他

(福祉健康課共催)



笑顔が絶えない地域づくりを
住み慣れた地域でいつまでも暮ら
し続けられるように、二子持区で
行われた情報交換会では認知症に
ついて熱心に学び合いました。

災害時の備えはだいたいよいぞ!!
昨年は御嶽山噴火を始め災害続き
の一年でした。南木曾町の豪雨災
害では災害ボランティア支援に協
力。災害時の支援体制づくりにつ
いて改めて考えさせられました。





◇地域福祉サービス

	実施回数	利用者	延利用回数(前年度比)
1 どんぐり広場	12回	10組10名	91回 (+27回)
2 ミニ児童館	244日	37名	391回 (△2回)
3 ふれあい元気づくり教室	12回	30名	209回 (△9回)
4 お楽しみ弁当	14回	44名	540回 (+33回)
5 ごたくらぶ	12回	13名	82回 (△7回)
6 会食会	1回	70名	- (+5名)
7 障がい者希望の旅	1回	9名	- (+2名)
8 障がい者交流会	1回	8名	- (△5名)
9 金銭管理・財産保全サービス	28日	1名	35回 (△53回)



味よし!色よし!

お楽しみ弁当のつくり隊は51名の方が活動。男性グループの皆さんが試食をしながら反省会。



おばあちゃん、こんにちは!

どんぐり広場は子育ての情報交換や勉強の場にもなっています。11月はいきいきサロンのおばあちゃんたちと交流会。



ひのきの箸はこうやって削るんだよ!

ごたくらぶのいいちゃんたちが木工クラブの小学生と交流。身につけた伝承の技を子どもたちに伝授しました。



笑顔で楽しく健康づくり
ふれあい元気づくり教室では、4名の講師が毎回さまざまなおメニューで、体操や音楽などを楽しく指導して下さいます。



ともに手を取りあい...
昨年の希望の旅は、花ももを探して下伊那へ。好天のもと会話はずみ、和気あいあいと交流しました。



季節の便りをお届け!
お楽しみ弁当には、毎月、絵手紙ボランティアさんによる個性的な作品が包み紙に添えられます。



◇生活資金貸付事業

貸付件数/残高 1件(0円)

☆新規貸付 - 件 ☆償還終了 1件

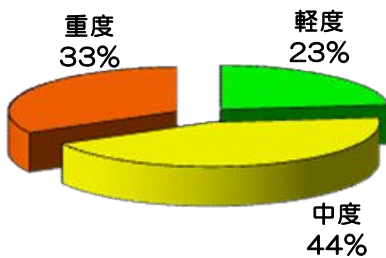


◇介護保険(障害福祉)サービス

☆介護保険サービスの利用が大幅に減少

平成26年度の介護保険サービスの利用者は、一定の新規利用者はありましたが利用者の入れ替わりの影響が大きく、前年度より月平均△5～6人(△17%)と大幅に減少しました。又、村内の介護保険認定者数も、平成26年1月から平成27年1月の1年間で、△12人(△26%)とかなり大幅に減少しました。

	営業日	利用者	延利用回数
1 居宅介護支援事業	244日	37名 ◎新規 7名	318回
2 通所介護(デイサービス)	256日	27名 ◎新規 7名	2,676回
3 訪問介護(ホームヘルプ)	308日	19名 ◎新規 6名	2,149回
4 障がい者ホームヘルプ	308日	1名 ◎新規 -名	441回
移動支援サービス		1名	50回



<居宅介護支援事業>

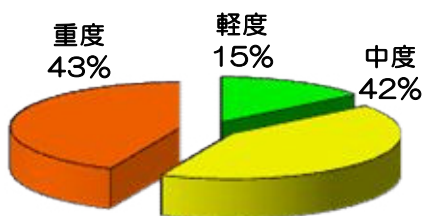
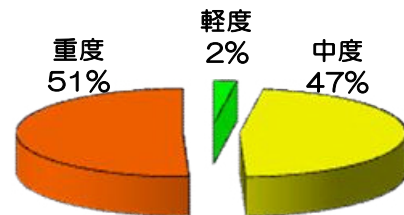
介護状態別ケアプラン作成状況(延件数)

	26年度	25年度	増減
軽度	74件	78件	△4件
中度	139件	164件	△25件
重度	105件	142件	△37件
合計	318件	384件	△66件

<デイサービス>

介護状態別利用状況(延人数) ◎1日平均利用者 10.5人

	26年度	25年度	増減
軽度	61人	2人	+59人
中度	1,261人	1,321人	△60人
重度	1,354人	1,670人	△316人
合計	2,676人	2,993人	△317人



<ホームヘルプサービス>

介護状態別利用状況(延回数)

	26年度	25年度	増減
軽度	310回	330回	△20回
中度	909回	1,013回	△104回
重度	930回	843回	+87回
合計	2,149回	2,186回	△37回

<障がい者ホームヘルプ> ※移動支援含む

	<26年度>	<25年度>	<増減>
◎延訪問回数	491回	514回	△23回
◎延訪問時間	534.5H	525H	+9.5H

◎延訪問時間 2,052H

身体介護705H/生活援助1,050H/介護予防297H

※1回当たり訪問時間(平均) 57分(前年度比95%)



今年も一年健康で！
デイサービスで新年に繭玉をつくり、だんごの木に飾り付け。

☆サービス提供体制への影響が懸念

介護保険サービスの利用状況は3事業ともに前年度を下回り、全ての事業が繰入決算となりました。通所介護では、特に重度の方が前年度比△19%となるなど、月平均26人程度利用者が減少。訪問介護ではほぼ前年度並みの訪問回数でしたが、内容面では重度の方が増加し身体介護が増加。新規利用者により実人数は増加しましたが、重度者への対応加算の対象から外れたため収入面では△11%の減少となりました。

利用状況及び事業収入の推移によってはサービス提供体制の維持に影響を及ぼすことも考えられ、今後の事業運営の大きな課題となっています。



◇介護予防・生活支援事業

☆生活支援サービス充実 と相談支援体制の整備

平成26年度は、生活支援サービスの充実と身近な相談支援体制の構築を重点目標に掲げましたが、生活支援を目的としたサービスの利用が大幅に増加。

相談支援の面では、独居世帯の交流促進と日常生活の支援を目的に、新たに「ひとり暮らしよらまい会」を開始。心配ごと相談では、新たに介護相談と福祉サービス相談を設け、相談支援体制の整備に努めました。

☆配食サービスの利用が 大幅に増加

配食サービスの利用が、前年度より月平均46食（116%）と大幅に増加。1人当たりの月平均利用回数は19食と、多くの利用者がほぼ毎日のご利用をされており、ひとり暮らし高齢者が増加するなか、在宅生活の継続に欠かすことのできないサービスとなって来ています。

	実施回数 (日数)	利用者	延利用回数(前年度比)
1 いきいきサロン	12回	13名	90回 (+4回)
2 配食サービス	488回	23名	3,960回 (+551回)
3 生活支援ホームヘルプ	53日	2名	53回 (+26回)
4 介護教室	6回	53名	72回 (△14回)
5 介護者リフレッシュ	4回	16名	35回 (△4回)
6 外出支援サービス	218日	46名	979回 (+83回)
7 軽度生活援助サービス	41日	5名	42回 (△11回)
8 ひとり暮らしよらまい会	2回	23名	34回 (+34回)
9 心配ごと相談所	15回	-	12回 (△3回)



◇生活支援ハウス運営事業

入居者5世帯6名（365日 24時間営業）

☆新規入居 1世帯（1名） ☆退所 1世帯（1名）

～平成26年度監査意見よい①～

◇在宅生活の支援の充実

配食サービス等の利用が大幅に増加しているが、生活支援サービスが充実し、独居世帯等の見守りや相談支援にも一定の役割を果たしていると思われる。一方、介護サービスでは短期入所等の利用による冬期間の利用の落ち込みが見受けられるが、より一層「安心感」のある在宅生活の支援を行なえるよう、今後のサービス展開のあり方について行政と協働で検討を行なわれない。



お弁当お持ちしました！

配食ボランティアには32名の方が登録。夏休みは小中学生がお手伝いしました。



子どもといっしょに、エイ、エイ、オー！恒例の七夕交流会では、いきいきサロンのばあちゃんたちが園児と元気に交流。



そば打ち体験で介護者が交流。おしゃべりしながら情報交換。おいしい蕎麦でリフレッシュ！お



こんなもんでいいか？
介護教室では、男衆が身近な食材を使ったお手軽料理に挑戦。

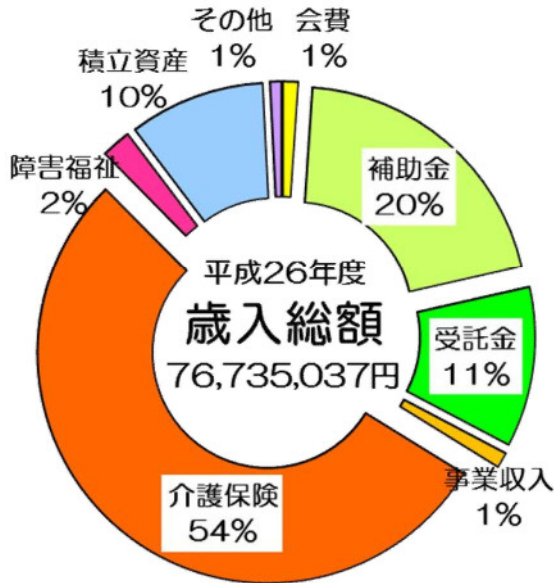
平成26年度一般会計決算

“収入減少により、厳しい財政状況に”

歳入合計 76,735,037円
 歳出合計 76,435,037円
 差引残高 300,000円

歳入

(単位：円)

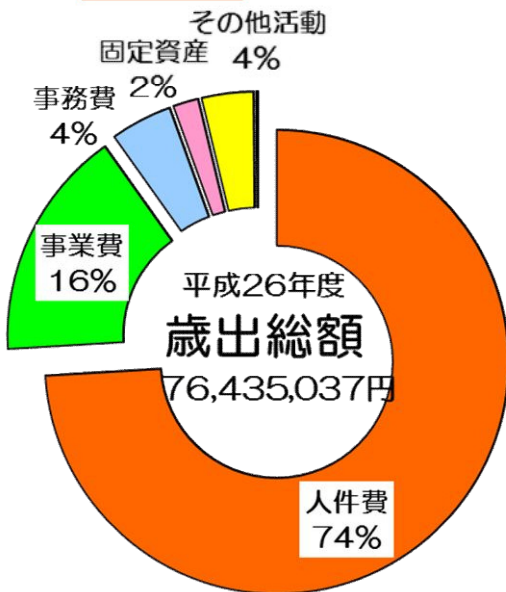


	決算額	前年度決算額	増減
1 会費	822,000	837,000	△15,000
2 寄附金	168,142	232,470	△64,328
3 補助金	15,642,996	16,632,391	△989,395
4 受託金	8,632,899	8,205,221	427,678
5 貸付事業収入	100,000	210,000	△110,000
6 事業収入	836,200	829,300	6,900
7 介護保険事業収入	41,269,763	47,239,642	△5,969,879
8 障害サービス収入	1,601,440	1,469,240	132,200
9 基金・積立金取崩	7,319,544	3,356,959	3,962,585
10 前期繰越金	200,000	1,126,638	△926,638
11 その他	142,053	74,809	67,244
合計	76,735,037	80,213,670	△3,478,633

※「補助金」は共同募金配分金収入(597,996円)を含む。「事業収入」は介護保険事業、受託事業以外の利用料等の収入。
 ※退職給付引当資産返還金等の「その他の活動による収入」を除く。

歳出

(単位：円)



	決算額	前年度決算額	増減
1 人件費	56,604,680	59,822,203	△3,217,523
2 事業費	12,312,919	12,420,123	△107,204
3 事務費	3,295,511	2,977,603	317,908
4 固定資産取得支出	1,355,000	2,000,000	△645,000
5 その他の活動支出	2,762,092	2,389,452	372,640
6 その他	104,835	194,289	△89,454
合計	76,435,037	79,803,670	△3,368,633

※「その他の活動支出」は退職給付引当資産等の支出。
 ※退職給付引当資産返還金等の収入に対応する、退職一時金及び引当資産差損、その他の支出を除く。

～平成26年度監査意見より②～

◇介護保険事業の運営

介護保険事業収入の大幅な落ち込みにより財政面では非常に厳しい状況にあるが、引き続き行政と連携し利用者の掘り起こしを行なうとともに、介護保険事業の継続及び充実の現状と課題について行政とも認識を共有し対応されたい。

平成26年度の収支決算は、介護保険事業収入が利用実績の落ち込みにより、前年度比△五九七万円(△13%)と大幅に減少。

一方、歳出面では、人件費の抑制(前年度比△5%)などにより前年度比△三三七万円(△4%)の減額決算となりましたが、介護保険事業で3事業ともに繰入決算となり、財源補填のための積立金からの取崩額が法人全体で前年度比四六五万円増加するなど、非常に厳しい財政状況となりました。

介護保険事業では、平成27年4月の介護報酬改定により更に厳しい収支状況になることも予想され、今後の中長期的な財政運営と持続可能なサービス提供体制の再構築が課題となっています。



= 各サービス区分のおもな事業 =

◇地域福祉推進事業 * 計6事業

- ①地域福祉推進事業 ②ボランティアの育成・支援
③福祉教育の推進 ④調査広報事業◎ ⑤社会福祉大会◎ ⑥福祉活動の促進・支援等◎

◇地域福祉サービス * 計7事業

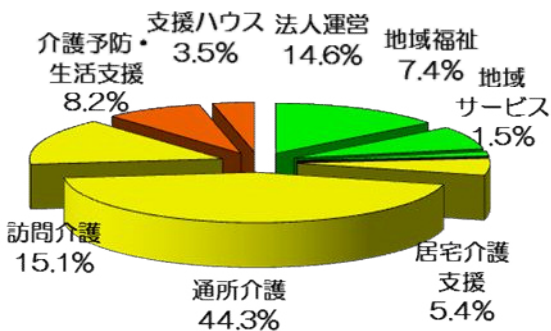
- ①どんぐり広場/ミニ児童館◎ ②会食会他◎ ③ふれあい元気づくり教室 ④お楽しみ弁当 ⑤ごたくらぶ◎ ⑥障がい者希望の旅 ⑦障がい者の交流促進等
☆ 上記事業の内、利用者の皆さまの利用料等
計394,200円 (対事業費 49%)

◇介護予防・生活支援事業 計8事業

- ①いきいきサロン ②配食サービス ③生活支援ホームヘルプ ④介護教室 ⑤介護者リフレッシュ事業
⑥外出支援サービス ⑦軽度生活援助サービス
⑧心配ごと相談所

☆ 上記事業の内、利用者の皆さまの利用料等
計1,792,000円 (対事業費 70%)

※「*」の事業の内、計10事業に会員の皆さまの年会費を充当しています。「◎」の事業は、共同募金配分金事業です。(計6事業)



事業別歳出決算額の内訳

(単位：円)

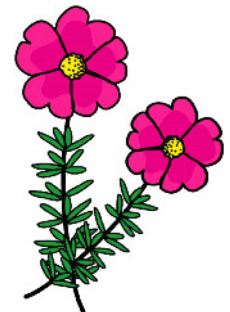
拠点/サービス区分	決算額	前年度決算額	増減
1 法人・地域福祉活動	17,964,349	19,390,858	△1,426,509
1 法人運営事業	11,110,410	10,850,640	259,770
2 地域福祉推進事業	5,679,096	7,362,334	△1,683,238
3 地域福祉サービス	1,125,158	1,127,555	△2,397
4 生活資金貸付事業	49,685	50,329	△644
2 介護保険サービス	49,569,789	51,946,191	△2,376,402
1 居宅介護支援事業	4,140,530	6,195,689	△2,055,159
2 通所介護事業	33,875,048	32,555,637	1,319,411
3 訪問介護事業	11,554,211	13,194,865	△1,640,654
3 介護予防・日常生活支援事業 (受託事業)	8,900,899	8,466,621	434,278
1 介護予防・生活支援事業	6,237,783	5,804,069	433,714
2 生活支援ハウス運営事業	2,663,116	2,662,552	564
合計	76,435,037	79,803,670	△3,368,633

※ 法人運営事業は基金組入額(29,650円)を含む。

介護保険事業の収支

(単位：円)

	居宅介護支援	通所介護	訪問介護	合計
歳出決算額 a	4,140,530	32,565,049	11,554,211	48,259,790
介護保険収入他 b	3,629,800	30,166,060	9,106,743	42,902,603
過不足額 b-a	△510,730	△2,398,989	△2,447,468	△5,357,187
(他事業繰出/繰入金)	0	0	0	0
(積立金取崩充当額)	△510,730	△2,398,989	△2,447,468	△5,357,187
(次年度繰越金)	0	0	0	0



※「介護保険収入他」の内、利用者の皆さまの利用料 計5,593,595円 (対事業費 98%)

※ 通所介護事業は、固定資産取得支出のための固定資産積立金取崩額(1,309,999円)を除く。

H26 基金・積立金の状況

H27.3.31現在

(単位：円)

基金・積立金	積立額	取崩額	残高	取崩額	残高
地域福祉基金 ※地方交付税財源	0	0	69,953,074	◎果実運用(社会福祉事業へ)	
	29,650	0	10,708,507	◎果実等運用(地域独自の福祉サービスへ)	
	0	0			
福祉基金 ※寄附金等財源	0	1,224,156	23,775,844	◎基盤整備、介護保険経営補填準備金	
	0	0	0		
	0	0	0		
法人安定化積立金	0	1,309,999	13,180,654	◎消耗資産の更新準備金(8件)	
	0	0	0		
	0	0	0		
固定資産積立金	0	4,685	4,685	◎生活資金貸付事業原資	
	0	4,785,389	1,500,000		
	0	0	0		

※ 事業財源の不足による運営補填のために、平成26年度は、暮らし資金積立金より法人運営事業へ347,344円、地域福祉推進事業へ305,014円(2事業)、介護保険サービスへ4,133,031円(3事業)を、法人安定化積立金より介護保険サービスへ1,224,156円(1事業)を取崩し充当しました。

※ 法人安定化積立金は、基幹的な人件体制整備のための人件費財源の確保、及び介護保険事業が赤字決算の場合の財源補填等を目的に積み立てています。

※ 固定資産積立金は、サービス運営に不可欠な車輛等の固定資産に関し、償却年数の古い資産から優先的に積立っています。

社協の会員
 制度は、地域に暮らす
 皆さまがともに参加し、
 地域が必要とされる福祉
 サービスについてともに
 考え、ともに支え合うた
 めの制度です。
 会費は、地域の实情に
 合ったきめ細やかな福祉
 サービスを提供するため
 に必要とされています。
 皆さまのご理解とご協力
 をお願い申し上げます。

会員・会費制度

「協カネサバ！」



笑顔でつなげる、心とこころ！

今年1月に行われたボランティア新年交流会のひとコマ。笑いヨガやジャンボ巻き寿しづくりで親睦を深めました。地域のひとりひとりが分け隔てなく心とこころを通わせ、ともに支え合える地域づくりのために、地域のみなさまの個性とパワーが必要とされています。

個人会員・・・おおむね20歳以上の皆さま

年会費 1口 1,000円

納入期限 8月3日(月)

◎ 福祉推進委員がご自宅に伺います。

法人会員・・・企業、団体の皆さま

年会費 1口 3,000円

納入期限 8月10日(月)

◎ 口座振込、又は保健福祉センターへご持参ください。



=評議員改選= ◎欠員に伴う交代

相渡 弘 (小中学校)

(任期：平成27年6月1日～平成28年5月31日)

=第三者委員改選= ◎前任者退任に伴う交代

原 操 ～社協評議員(行政相談委員)

(任期：平成27年6月1日～平成29年3月31日)

～平成26年度監査意見よい③～

◇財政運営および体制整備

介護保険事業の収支状況の悪化により 法人全体の経営状況は厳しい状況にあるが、中長期的な視点に立って、今後の事業展開及び財政運営、又、介護職員の人材確保をはじめ体制整備のあり方についての検討を行なわれた。

平成26年度寄付者ご芳名 (受付順)

ありがとうございます！

寄付総額 168,142円

一般寄付金

個人 尾戸 ちか子 様
 舟津 啓二 様

(第25回福祉・健康の集い
 /チャリティーマーケット)

団体 五郎八茶屋 様
 郷土料理 ひだみ 様
 民宿 さわ屋 様
 里の駅 王滝おんたけ広場 様
 王滝観光総合事務所 様

個人 脇坂 智恵子 様
 チャリティバザー (売上げ 12,950円)

指定寄付金

個人 三浦 友房 様
 血中酸素濃度測定器 (1台)
 デジタル自動血圧計 (1台)
 購入費用



いただいた花の苗をボランティアの皆さんがきれいに植えて下さいました。

物品寄贈

中込 秀樹 様
 マッサージソファ 2台
 ブラインド衝立 3台
 松越 勝人 様
 湯のみ 129客
 どんぐり村工房 様
 花苗 82鉢

※ この他にも、野菜や花き、綿布などの介護用品や手芸用品、手づくりの箸や弁当袋、子ども用の杵など、たくさんの心のこもった頂きものがありました。(計106件)